

令和5年度全国学力・学習状況調査結果【小学校】について

境港市教育委員会事務局

本年4月18日に実施しました全国学力・学習状況調査の結果を分析し、全国・県の結果と合わせまして本市の状況をお知らせします。



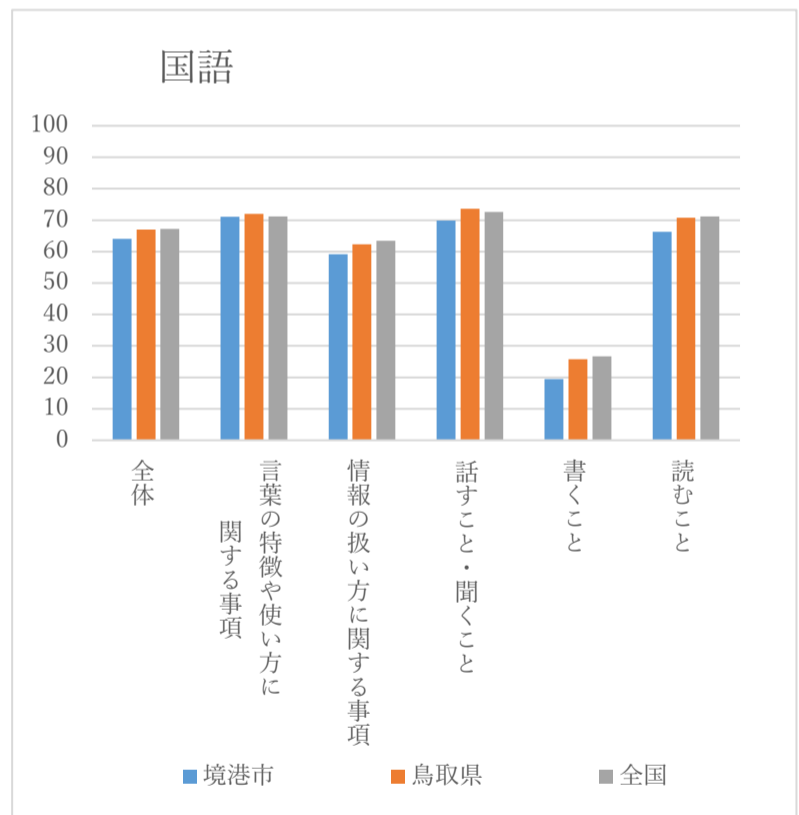
ただし、本調査により測定できる学力は一部であり、総合的な学力を表すものではありません。学習状況調査を含めた分析の結果が、子どもたちのよりよい学びをめざす指針になればと考えております。

教科の調査から 国語・算数

国語	境港市	県	全国	R5全国差	R4全国差
全体	64	67	67.2	-3.2	-6.6
言葉の特徴や使い方に関する事項	71.1	72.0	71.2	-0.1	-5.4
情報の扱い方に関する事項	59.2	62.3	62.3	-4.2	-
話すこと・聞くこと	69.9	73.6	73.6	-2.7	-2.5
書くこと	19.5	25.8	26.7	-7.2	-8.2
読むこと	66.3	70.8	71.2	-4.9	-9.1

＜国語＞【成果・課題となる内容】

- ・全体的に全国との差が縮まり、特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」と「読むこと」については、令和4年度に比べて改善傾向が見られます。
- ・「読むこと」については、「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること」（全国比+0.8）ができていますが、「目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約すること」（全国比-7.1）、「目的に応じて、文章と図表などを結び付けて必要な情報を見付けること」（全国比-8.4）に課題が見られます。文章を読むとき、文章中に用いられている図表などが、文章のどの部分と結びつくのかを考えて、必要な情報を見付けることが重要です。
- ・「書くこと」については、「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」（全国比-7.2）に課題が見られます。国語をはじめ様々な学習で、伝えたいことを明確にして、分かりやすく伝えるためには、どのような図表やグラフなどを用いるとよいか考えることが大切です。
- ・「情報の使い方に関する事項」については、「情報と情報との関係付けの仕方」、「図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと」（全国比+0.5）ができています。



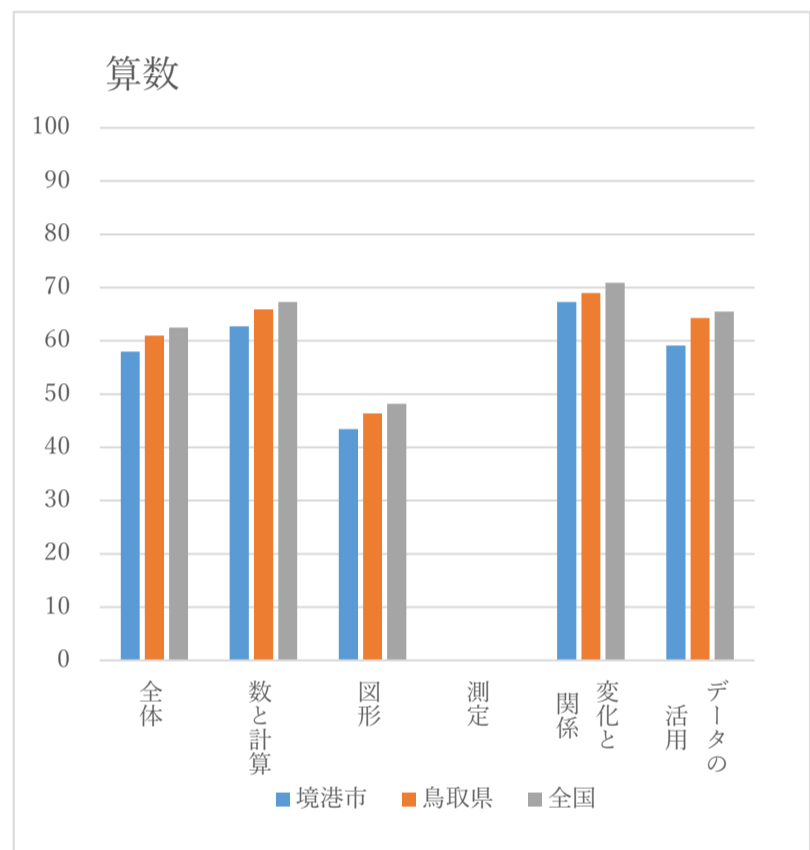
【児童質問紙とのクロス集計より】

- ・「国語の授業の内容はよく分かる」「授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた」と肯定的に回答している児童の平均正答率が高くなっています。
- ・「普段の読書の時間が2時間以上である」や「読書が好きである」といった質問に肯定的に回答している児童や学校や地域の図書館を週に4回以上活用していると回答している児童の平均正答率が高くなっています。活字にふれる機会を増やすことや読書環境を整えることが大切です。学校の図書館や市民図書館を有効活用することも本に親しむ児童の育成につながると考えられます。

算 数	境港市	県	全国	R5全国差	R4全国差
全体	58	61	62.5	-4.5	-7.2
A 数と計算	62.7	65.9	67.3	-4.6	-4.5
B 図形	43.4	46.4	48.2	-4.8	-10.7
C 測定	-	-	-	-	-
C 変化と関係	67.3	69.0	70.9	-3.6	-9.4
D データの活用	59.1	64.3	65.5	-6.4	-5.4

＜算数＞【成果・課題となる内容】

- ・領域「変化と関係」については、令和4年度より全国との差が縮まっています。その中でも、「伴って変わる二つの数量について表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めること」（全国比+0.1）や「比例関係ではないことを説明すること」（全国比+1.1）は全国平均を上回っています。しかし、「百分率で表された割合について表現すること」（全国比-12.5）には課題が見られます。
- ・領域「データの活用」については、「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ること（全国比-6.4）、「示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、違いを見付けて説明すること」（全国比-5.2）、「二次元の表から、条件に合う数を読み取ること」（全国比-7.6）に課題が見られます。算数の学習で、目的に応じて分類整理された複数のグラフを比べ、見付けたことを分かりやすく説明したり、グラフの特徴や傾向について考えたことを、グラフのどの部分からそのように考えたのかを分かりやすく説明したりすることが大切です。また、他教科・領域でも算数で学習した図表やグラフを取り入れて、自分の考えを表現することも深い理解につながると考えられます。
- ・領域「図形」については、高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を記述すること（全国比-10.0）に課題が見られます。平行な直線に挟まれた底辺の長さが等しい、複数の平行四辺形や三角形で面積を比べる活動を通して、等積変形で面積が等しくなることを確認したり、実際に計算して面積が等しくなることを確認したりすることが理解につながると考えられます。



【児童質問紙とのクロス集計より】

- ・「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」という質問に肯定的に回答している児童の平均正答率が高くなっています。また、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」や「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」という質問に肯定的に回答している児童の平均正答率が高くなっています。その他、「算数が好きである」という質問に肯定的に回答している児童の正答率が高くなっていることより、日々の学習の中で、児童が「できた、わかった、もっとやりたい」と実感できる授業づくりが重要です。

【一人一台端末の活用】

児童・生徒用の一人一台端末に導入している「e ライブラリー for まなびポケット」が、問題数が増えるなど、新しくなりました。一人ひとりの学習進度や理解度に合わせて、自分に必要な学習を進めることができ、自分が得意な学習については、さらにレベルの高い問題にチャレンジしたり、苦手な学習については、繰り返し問題にチャレンジしたり、関連する過去の学年の問題にかえて学習したりすることができます。学習時間の活用はもとより、放課後や家庭等での学習についても有効活用してください。

児童質問紙調査から ～学習習慣や生活習慣などに関する質問～



【全国より上回っている『満足いく』結果のもの(肯定的な回答の全国比較)】

- 自分には、よいところがあると思う (全国比+8.8)
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う (全国比+15.8)
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか (全国比+7.2)
- 学校に行くのは楽しいと思いますか (全国比+6.8)
- 今住んでいる地域の行事に参加している (全国比+8.3)
- あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか (全国比+12.8)
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか (全国比+10.0)
- 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか (全国比+8.5)
- 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか (全国比+5.9)



【全国より下回る等、課題がある結果のもの】

- △家で自分で計画を立てて勉強をしていますか (全国比-6.0)
- △学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。
 - ・1時間以上と答えた児童(全国比-21.8) ・2時間以上と答えた児童(全国比-15.8)
- △学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか (全国比-5.1)
- △総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる (全国比-10.3)
- △国語の授業の内容はよく分かりますか (全国比-5.7)
- △国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか (全国比-6.1)
- △英語の勉強は好きですか (全国比-9.5)
- △将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか (全国比-6.2)



< 成果 >

- 「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」と児童が肯定的に回答しています。また、「学校に行くのが楽しいと思う」「友達関係に満足している」と児童が肯定的に回答しています。Q-U(心理テスト)の結果を見ても、学級生活に満足している割合が全国と比べて高い傾向にあります。これからも学校生活や家庭生活の中で自分や人を大切に、お互いに尊重し合うことで自尊感情や自己有用感を高めてほしいです。
- 「いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思う」の問いでは、99%以上の児童が肯定的な回答をしています。これからも相手の立場に立って考えることや、相手を思い遣る気持ちを大切に生活しましょう。



< 課題 >

- △「国語の勉強は好きだ」「国語の授業の内容はよく分かる」「国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいる」という質問に肯定的に答えた児童の割合や「英語の勉強は好きだ」と肯定的に回答する児童の割合が全国と比べて低い結果となりました。立場や考えの違いを意識して話し合うなど、他者とのコミュニケーションを図りながら、自分の考えや気持ちを表現する機会を大切にしましょう。
- △家で自分で計画を立てて勉強をしている児童や普段、学校の授業時間以外に一定時間以上、勉強している児童の割合が低い結果となりました。復習や予習、また、自分が興味を持ったことなどについて計画を立てて取り組むことで、理解を深めてほしいです。

